

保護者用

SUN ネット端末ルールブック (中学校 Windows 版)

生徒用ルールブック

「SUN ネット端末」を
安全に活用するためのルールブック
(中学校 Windows PC 版)

第4版



吹田市教育委員会
令和5年4月

保護者の皆様

文部科学省が進めるGIGAスクール構想の実現により、吹田市も生徒に1人1台のWindows PCを配備しました。

生徒が、PCを安全に学びに活用できるよう、各校では、左に示した生徒用ルールブックに沿って使い方を指導しています。

本ルールブックでは、各ページにおいて、左側に生徒用ルールブックを示し、右側に解説等を掲載する形式で、保護者用としてまとめました。PCを持ち帰った際は、こちらの内容を確認ください。

SUN ネット端末は ^{たんまつ} ワクワク学べる道具

中学生のみなさんには、SUN ネット端末として Windows PC を貸し出します。
SUN ネット端末を使えば、世界の人とつながることができます。
人に大切なことを伝えることができます。
知りたいことを知ることができます。
自分の表現したいことを自由な形で表現できます。
学び方はみなさんの工夫次第で無限大。
さあ「新しい学び」の扉を開きましょう。

SUN ネット端末を使うときの約束

- (1) SUN ネット端末は学習のために使しましょう。
- (2) SUN ネット端末は大切に使しましょう。
- (3) SUN ネット端末はルールを守って使しましょう。



「SUN ネット端末」とは、G I G Aスクール構想で配備した生徒用 Windows PC のことです。

吹田市を象徴するモニュメントである太陽の塔にちなんで、G I G Aスクール構想用に整備したネットワークを「SUN ネット」、Windows PC を「SUN ネット端末」と名付けました。

SUN ネット端末 (2種類のうちいずれかのPCが配備されています)



(1) SUN ネット端末は学習のために使います。

SUN ネット端末があれば、どんなことができるようになるのでしょうか。

- ① 「同じ」を解決するために必要な情報を必要に応じて調べることができます。
- ② 考えたことや学んだことが一か所にまとめて管理されることで、いつでもすぐに取り返ったり活用したりできます。
- ③ 一つの課題を解決するために、たがいの考えを共有し、深めることがより簡単にできるようになります。
- ④ プレゼンテーション機能で、より簡単に自分の考えを整理し、表現できます。

教育支援教室のルールを守って使います

- ① 利用は …… 各教室で決められた時間に利用します。
- ② 学習中は …… 机の上に置いて使います。
- ③ 机から離れるときは…机の上に置いたままにせず必ず机の中やかばんの中に入れます。
- ④ 持ち帰るときは…必ず、かばんの中に入れて持ち帰ります。
(次に入室するまでに自宅で充電をしてください。)



SUN ネット端末を活用すれば、様々なことができるということを表しています。生徒は文房具と同じように SUN ネット端末を活用しながら主体的に学びを広げていきます。

ここは、各中学校で決めるルールです。学校でどのようなルールになっているか確認してください。

たんまつ
(2)SUN ネット端末は大切に使いましょう。

長く大切に使いましょう。
学年が上がるときには、そのままと持ち上がりませう。
そして、卒業する時には、学校へ返します。

①きれいな手で使いましょう。

②落とさないように使いましょう。

落とすと、ガラスが割れて傷が入ります。

③水などでぬらさないように使いましょう。

④教室から持ち出して移動するときは、落とさないように
気を付けて持ち運びましょう。

例えば、茶室のように落とさないようしっかり持って、持ち運びましょう。



⑤持ち帰るときは、必ずかばんの中に入れましょう。

強いゆれや衝撃が加わると、使えなくなることがあります。



SUN ネット端末は学校から生徒一人ひとりに貸与されているものです。転出や卒業する時には学校へ返却してもらいますが、それまでは同じ端末を使い続けます。返却した端末は、新入生や転入生などが使うので、大切に使うように学校で指導しています。

(3)①SUN ネット端末はルールを守って使いましょう。

SUN ネット端末の正しい使い方を身につけるため、またさまざまなトラブルをさけるために、次のルールを必ず守りましょう。
ルールを守れない時は、使うことはできません。

1. ほかの人の SUN ネット端末にはさわりません。
2. SUN ネット端末の貸し借りはしません。
3. 自分のID・パスワードを人に教えません。
また、人のID・パスワードをのぞきこんだり、教えてもらったりしません。
4. ほかの人のID・パスワードを使ってログインする「なりすまし」はしてはいけません。
(法律で禁止されています。)
5. ID・パスワードの入力を10回連続で間違えると、1分間入力できません。
その後にも再度間違えると、より長い時間にあたって入力できなくなります。
6. 学習に必要なインターネットサイトの使用、閲覧(見ること)、ダウンロード、アップロード等をしてはいけません。
7. SNS、Webメール、クラウド、動画投稿サイトのサービスは利用しません。
※SNS、動画投稿サイトについては、学習に使用する場合に限って、閲覧すること(見ること)ができます。

SNS(Twitter, Facebook, Instagram など)
動画投稿サイト(YouTube, TikTok など)
8. 学習に関係のない写真や動画などのデータは保存しません。
9. USB デバイスは原則使用しません。
(ただし、マウス・キーボードの使用は可)
10. Bluetooth は原則使用しません。
11. 故障した場合、紛失した場合は、速やかに先生に報告しましょう。



ID・パスワードは、デジタルの世界において生徒一人ひとりがインターネット上のサービスを利用する際に必要
なとても大切なものであり、他人に教えたりするものでは
ありません。そのため、学校で管理するのではなく、
自分で管理するように指導しています。また、自分のパ
スコードやパスワードは保護者と一緒に決めること
にしていますので、よろしくお願ひします。

(本ルールブックの最後に管理票を付けていますので、お子様の
パスコード・パスワードの管理に活用ください。)

有害なサイトにアクセスしないようにフィルタリング機能
が働いていますので、ご安心ください。

故意や重大な過失があった場合、またはルールブック上
で禁止されている行為による故障、破損は弁償の対象と
なることがあります。通常の教育活動での故障、破損等
は対象とはなりません。紛失時は、必ず警察に届けた
うえで学校に連絡してください。

(3)②SUN ネット端末はルールを守って使いましょう。②

各種ソフトウェアを使うときの注意

■ミライシード

1. ミライシードの「[L]さん BOX」に自分のデータを保存します。
(SUN ネット端末に残しません。)
2. 授業に関係のないデータや写真などを個人フォルダに保存しません。
3. ほかのクラスや授業に関係のない生徒と先生の交流及び先生への個別の連絡は
しません。

■Office365-Teams

1. 授業に関係のないファイルは保存しません。
2. チームやチャネルの作成はしません。
3. 他人を検索したり検索可能な生徒と先生でメッセージなどによる交流をしません。

カメラ機能を利用するときの注意

1. SUNネット端末のカメラ機能は、学習の目的のみ使用します。
2. ほかの人を撮影するときは、撮影することや撮影したことを、相手にきちんと伝えます。
3. 撮影した相手にいやな思いをするものであれば、相手の前で削除したことがわかるようにします。
4. 撮影した写真を加工するときは、写真に写っている人に加えていかなど何かの確認をします。
5. インターネット上に不適切なデータを公開した場合、完全に消すことはできない可能性があります。不適切なデータが残ることで、あなたを命じることがある人がいやな思いをしなければならなくなる可能性があります。

授業等で活用するソフトウェアであるミライシードとMicrosoft Teams の使用に関する注意事項です。学習にのみ生徒が活用することを学校で指導しています。

カメラ機能の利用方法を誤ると、肖像権の侵害や名誉棄損などにつながります。学校でもここに記載している内容を指導しますが、保護者の皆様もご理解いただき、お子様と一緒に確認してください。

持ち帰りち帰りのときの注意

1. 持ち帰るときは、必ず先生の許可を得てから持ち帰ります。
2. 充電ケーブルは(学校の状況に応じて記入)、自宅で充電します。
3. 持ち帰り時のネットワーク接続は、自宅のWi-Fiのみとします。
(外部のフリーWi-Fiには接続しません。ただし、吹田市立中央図書館、吹田市立北千里図書館、青少年クリエイティブセンター、多摩なごみ未来館、男女共同参画センターはSUNネット専用回線が整備されているのでネットワーク接続することができます。)

持ち帰ったときの注意

1. SUN ネット端末は学習のために使います。
2. 使う場所、使う時間、保管場所(充電場所)について、保護者と話し合い必ずそれを守ります。
3. 困ったことや、いやな思いをしたことがあれば、先生や保護者に相談しましょう。

健康に使うための注意

1. SUNネット端末は姿勢よく使い、画面から目を30cm以上はなして見ましょう。
2. 30分に1回は画面から目をはなし、遠くを見るようにしましょう。
3. くますり寝るために、寝る1時間前からはSUNネット端末を含むデジタル機器を使わないようにしましょう。
4. 時間を決めて遠くを見たり、目が疲れないようにまばたきを促したりして、自分の目を大切にしましょう。

持ち帰ったときは、セキュリティの観点から、外部のフリーWi-Fiへの接続は禁止しています。ただし、児童用のルールブックにある5つの施設では接続が可能です。自宅では自宅のWi-Fiにのみ接続してください。接続時には、自宅のWi-Fiの設定(SSID)入力等が必要となりますので、サポートをお願いします。

SUN ネット端末は、児童が学習に使うための道具です。家庭に持ち帰った際は、使う場所、使う時間、保管場所(充電場所)を話し合い、決めてください。また、持ち帰った日は充電を行い、翌日は満充電で学校に持って来るようにしてください。なお、充電ケーブルは家庭のものを使用しても構いません。(各学校で適宜変更)

端末を使うときの健康面でのポイントを、本人の習慣として身につけられるよう、学校でも指導しますが、保護者の方にも気にかけていただくと効果的です。



SUN ネット端末で利用できるアプリケーションの一覧

中学校 Windows アプリケーション
アプリ名
Google Earth Pro
Mitaka
Scratch
常用漢字筆順辞典 FREE
Cube PDF
国土マップR
星座表 (Microsoft)
筆順アプリ
タイピングアプリ (猫ソフト)
タイピングアプリ (寿司打)
eライブラリ
ミライシード
L-Gate
マモレポ
Office (Word,Excel,Powerpoint,Teams,Stream,OneDrive)
QRコードスキャン
Viscuit
ベーシックジーニアス英和辞典 第2版 (大修館書店)
明鏡国語辞典 第二版 (大修館書店)
新漢語林 第二版 (大修館書店)
F-Secure
Global Protect
NetAtTestの証明書
瞬快

パスコード・パスワード管理票

<p>ログインパスワード (L-Gateのパスワード) (アルファベット大文字・小文字・記号・数字 のうち3種類を組み合わせた8文字)</p>	
<p>ミライシードのパスワード (数字4けた)</p>	

決めたパスワードを記入し、ご家庭で管理ください。

非常時における SUN ネット端末を活用した具体的な取組 (非常時…2週間程度の学校・学年・学級閉鎖等)

1 非常時における学習保障に関する基本的な考え方

感染拡大を防止することと子供たちの健やかな学びを保障することとの両立を図っていくことが重要であり、臨時休業等の場合であっても、教職員が児童・生徒の日々の心身の状況を把握し、生活のリズムづくりや学習の歩みを止めることのないよう支援することが必要であると考えます。なお、Wi-Fi 環境のない児童・生徒には、モバイルルータの貸し出しを行います。

2 非常時に、SUN ネット端末を通して、家庭でできること

Microsoft Teams 等の使い方は、吹田市立教育センターのホームページでもご覧いただけます。⇒



校種	活動内容	使用するアプリケーション
小・中学校 共通	双方向通信 課題確認・提出	Microsoft Teams
	課題確認・提出	ミライシード オクリンク
		ミライシード ムーブノート
小学校	個別学習	ミライシード ドリルパーク
中学校		学校で指定されたもの e ライブラリ

使用するアプリケーションについては、学校ごとに指示があります。



3 具体的な取組 「オンラインホームルーム」の実施と「家庭学習課題」の配付・提出

○「オンラインホームルーム」の実施

Microsoft Teams を活用し、リアルタイムで、双方向にやりとりし、ホームルーム等を実施します。

○「家庭学習課題」の配付・提出

Microsoft Teams、ミライシード等で、教科書や補助教材を使った課題を配付します。家庭で個別に学習し、オンラインで提出できます。また、あらかじめ準備されているデジタル学習コンテンツの利用も可能です。

感染症罹患による入院等、個別の事情などにより、ICT を活用した学習支援等が困難な場合は、学校と御相談ください。

一日のスケジュール(活動例)

(活動の一例です。発達段階、ネットワーク環境に応じて、内容は変わります。)

9:30 接続準備 (Microsoft Teams)

9:50~10:20 (双方向通信)

朝の会・SHR 出席確認・健康観察

連絡:一日のスケジュール

課題の確認

午後の接続開始時刻の確認

10:20~13:00

「課題に取り組む時間」(昼食、休憩含む)

例) 教科書や補助教材の利用

→ 演習問題、音読、感想文等

13:00~13:20 (双方向通信)

連絡:午後のスケジュール

課題の確認

次の接続開始時刻の確認

13:20~14:30

「課題に取り組む時間」(休憩含む)

例) 作文、作品づくり等

14:30~15:00 (双方向通信)

終わりの会・終礼 今日のふり返り

課題の提出・明日の連絡